



4月19日(火)に6年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の結果が、文部科学省から届きましたので概要をお知らせします。(「教科に関する調査」と「質問紙調査」を実施)

教科に関する調査・国語、算数、理科(3年ぶり)

出題内容

- (1) 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
- (2) 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等

平均正答率

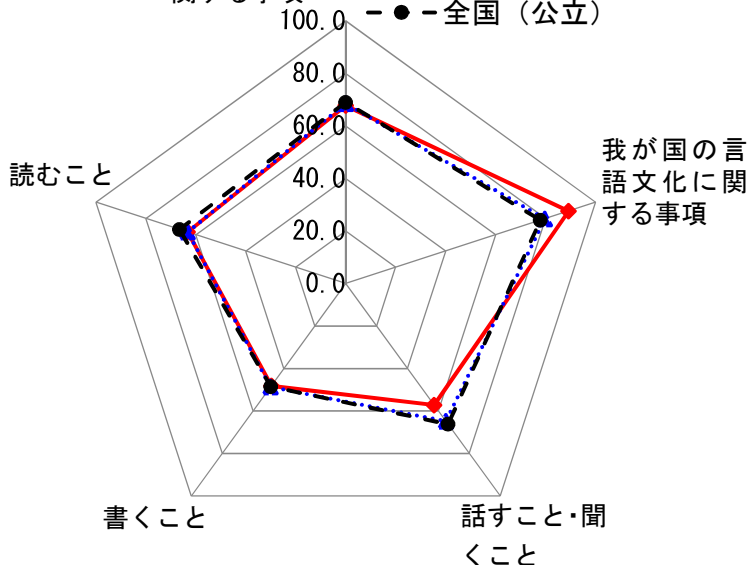
	国語	算数	理科
羽合小学校	64	60	60
鳥取県	64	62	63
国	65.6	63.2	63.3
県との差	0	▲2.0	▲3.0
国との差	▲1.6	▲3.2	▲3.3

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>

国語

言葉の特徴
や使い方に
関する事項

—●— 羽合小
—▲— 鳥取県(公立)
—●— 全国(公立)



○「我が国の言語文化に関する事項」の領域が、県、全国平均を大きく上回っています。具体的には、文章を書く時の漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書く問題が高ポイントでした。

○特に「書くこと」の領域では、「文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つける」問題が県平均を6.9%、全国平均を9.3%上回っていました。

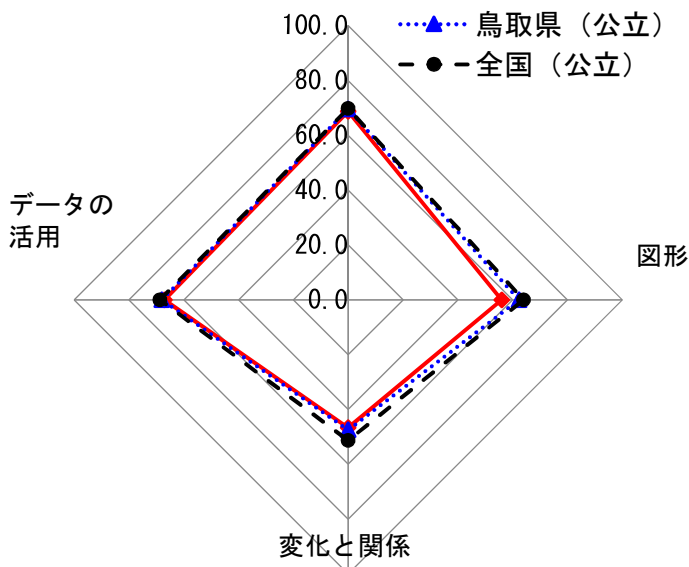
○「言葉の特徴や使い方に关する事項」の領域では、「録画」という漢字の記述が県平均を5.9%、全国平均を9.2%上回っていました。

○一方、「話すこと・聞くこと」の領域において、「互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、自分の意見をまとめる」文章記述式問題が、県平均を16.7%、全国平均17.6%下回っていました。

算数

数と計算

—●— 羽合小
—▲— 鳥取県(公立)
—●— 全国(公立)

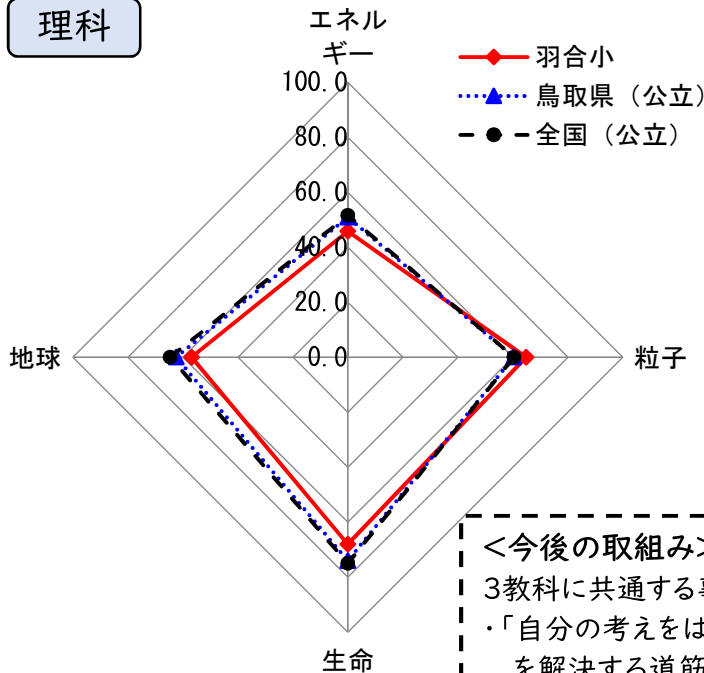


○「図形」の領域を除いて、ほぼ県平均並みの結果でした。

○「変化と関係」の領域では、「百分率で表された割合と基準量から、比較量を求める」問題、具体的には「果汁が40%含まれている飲み物の量が1000mLの時の、果汁の量を求める問題」が、県平均を5.9%、全国平均を0.5%上回っていました。

○一方、同じ領域でも、「果汁が30%含まれている飲み物で果汁が180ml入っているときの、飲み物の量と求め方を書く」問題は、県平均を10.9%、全国平均を13.1%下回っていました。正しい答え(飲み物の量)は出ているのにも関わらず、その求め方を文章で記述することも求められる問題であり、完全回答となっていないケースが散見されました。

理科



○「粒子」の領域で県平均を 5.1%、全国平均を 4.4%上回っていました。特に「メスシリンダーの名称理解」については県平均を 15.9%、全国平均を 23.8%上回っていました。

○一方、「エネルギー」「生命」「地球」の領域では県平均、全国平均を5~8%下回っていました。

○「地球」の領域では、「夜の気温の変化について、他者の予想をもとに、記録の結果を表したグラフを見通して選ぶ」問題で、県平均を 14.8%、全国平均を 16.3%下回っていました。

<今後の取組み>

3教科に共通する事項として、次のことが重要だと考えています。

・「自分の考えをはっきりと持つこと(立場を明確にすること)」や「問題を解決する道筋を考え、友だちの考えと比較しながら自分の考えをまとめること」、更には「それらをもとに新たな問題を見出すこと」などの力を育成する授業改善に努める必要があると考えています。

質問紙調査・基本的生活習慣や学習への取組み等、全 69 問実施

<児童質問紙調査結果の主な肯定的回答状況>

- 「朝食を毎日食べていますか。(97.7%)」(県比較+2.4%、全国比較+3.3%)
- 「将来の夢や目標を持っていますか。(84.1%)」(県比較+4.5、全国比較+4.3%)
- 「今住んでいる地域の行事に参加していますか。(81.8%)」(県比較+13.9、全国比較+29.1%)
- 「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。(77.3%)」(県比較+6.0、全国比較+6.2%)
- ▲「自分には、良いところがあると思いますか。(70.5%)」(県比較-8.5%、全国比較-8.8%)
- ▲「自分と違う意見について考えるには楽しいと思いますか。(61.4%)」(県比較-7.8%、全国比較-12.1%)
- ▲「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。(69.3%)」(県比較-9.8%、全国比較-10.8%)
- ▲「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか。(50.0%)」(県比較-9.4%、全国比較-15.4%)

<今後の取組み>

よい生活習慣は身につけているようですが、自分と向き合い、自分の良さに気づき自信を持てたり、友だちの前でしっかり自分の意見が言えたりするような児童の育成に努める必要があると考えています。言い換えると、互いのよさを認め合う仲間づくりや親和的な学級づくりに努めるなど、さらに児童の自尊心を高める取り組みの充実が必要であると考えています。

最後に……6年生の春に行う全国学力・学習状況調査の結果は1年生からの積み上げの結果ですので、夏休み期間中に全職員で詳細な分析を行いました。それに基づき、本校児童の強みと弱みを確認し、どのような授業改善を行う必要があるのか、求められる課題への対応はどうすべきか等、共通理解しています。すでに 2 学期の授業や生活場面で課題克服のための取組みを始めているところです。

参考までに…県や全国状況等は以下の QR コードからご覧いただけます。町の結果については 10 月の町広報誌に掲載予定とのことです。



鳥取県の結果



調査問題



全国の結果